

平成 25 年度 第 6 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録

開催日時 平成 25 年 7 月 4 日（水） 午後 7 時～8 時 30 分

開催場所 大橋公民館

参加者 市民 15 人

《フリートーク（意見交換）》

- 1 過疎化対策について
- 2 東小学校の跡地利用について
- 3 倉作地区の道路整備について
- 4 学校跡地の利活用について
- 5 学区制度について
- 6 友部池野辺線について
- 7 地域コミュニティについて
- 8 涸沼川の川底の土砂撤去と県道の整備について
- 9 地元施設の管理について
- 10 巡回バスについて
- 11 池野辺地区の埋立地について
- 12 区長回覧について

《内容》

1 過疎化対策について

【意見等】

小学校が廃校になったら市外から来る人もいなくなり、ますます過疎化が進んでしまうのではないかと、大変心配している。すべてを中心市街地に集中させるのではなく、発想の転換が必要ではないか。

【回答】

学校の統廃合は過疎化につながるという意見がありますが、少子化が進んでいる社会の中で、一定規模の学校として運営することが子どもたちの運動面や学習面でもよりよい方向であると考えて、最終的に学校の統合を決定しました。平成 27 年度の統合に向けて、生徒や保護者の不安をできるだけ取り除くようにメンタル面を含めて、準備委員会を設立し、議論をしながら対応していきます。

地域の活性化については、中心街は笠間市の活性化の拠点として必要と考えますが、周辺の農村部についてもそれぞれに課題がありますので、それらについても対応していきたいと考えています。

定住化対策については行政が行う施策として、適正に管理された空き家を市が仲介して貸し借りするという空き家バンク制度を今年、スタートさせました。こちらは現在何件かの問合せをいただいています。

2 東小学校の跡地利用について

【意見等 1】

学校統合により廃校となる東小学校はどのように利活用するのか

【回答 1】

今のところ、跡地を何に使うかといった具体的な計画はありません。体育館については、地元で自由に使っていただきたいと考えています。校舎については、今後検討しますが、地元で使いたいという要望があれば前向きに考えたいと思います。

グラウンドについては、除草作業など維持管理も考えなくてはならないと思います。地元でも跡地の利用について議論していただきたいと思います。

【意見等 2】

定住化促進のために介護施設を作ってはどうか。

【回答 2】

笠間市の介護保険事業計画により平成24, 25, 26年度の3年間の計画期間で施設を何箇所にするか示されています。計画に入っていない施設等については増やすことはできません。介護施設が多くなれば、介護保険料が上がることにもなりますので、ご理解いただきたいと思ひます。

3 倉作地区の道路整備について

【意見等】

道路整備について、倉作地区などは生活道路として問題がある。通学路の整備を含め対応してもらいたい。また、通学路に木が生い茂っているのて対応していただきたい。

【回答】

市内の幹線道路の新設整備は、整備中の道路を除いてほぼ終了しています。今後は生活道路に重点を置いていこうと考えています。ただし、道路整備については、多くの要望があるのですぐを実施することはできません。優先順位をつけて対応していきます。

通学路については、雑草やつるが伸びて支障が出ている場所については、市に連絡してください。できるだけ早く対応します。

4 学校跡地の利活用について

【意見等】

学校跡地の利活用として、敷地が平らで面積も広いのでソーラー発電を行ってはどうか。

【回答】

学校跡地の利活用としてソーラー発電もひとつの考え方であると思ひますが、約20年間は、他の利活用ができないという制約もあります。幅広く意見を聴いて検討していきたいと思ひますので現時点で回答を出すことはできません。

5 学区制度について

【意見等】

笠間市には学区制度があるのか。学校が統合されるなら、入学時から統合先の学校に行こうと考える保護者もいると思われるので、教育委員会としての基本的な考えを示してほしい。

【回答】

学区制度はありますが、他の学区へ行きたいとの申請があれば、その理由を確認したうえで認めています。保護者の中には統合時期を待たずに、入学時から統合先の学校に登校させるという考えもあると思ひます。市としては、今までも他の学区への入学や転校等を許可してきた事実がありますので、統合が予定されているという理由で許可しない訳にはいきません。保護者には、準備委員会の中でよく説明し、不安をなくすようにしていきたいと思ひます。また、統合先の学校との交流会も考えています。これらについては教育委員会として、はっきりした見解を示していきます。また、学童クラブも笠間小学校1箇所にするのか、分散するのかという問題もあるので、この件についてもきちんと議論していきます。

6 友部池野辺線について

【意見等】

友部池野辺線の県道への接続部分が残っているが、いつ開通するのか。

【回答】

工事が永らく中断し、ご迷惑をおかけしています。地権者の合意が得られない部分について、現在、用地交渉を進めています。

交渉しても合意取り付けの見通しが立たないときは法的手段も考えますが、地権者が理解していただけるように努力して話し合いを続けていきます。

7 地域コミュニティについて

【意見等】

笠間市総合計画にある地域コミュニティについて、新たな組織ができるなどの進捗はあるか。

【回答】

地域コミュニティについては、既存の区を中心とした自主防災組織など新たなものができています。自主防災組織については訓練終了後にバーベキューを行うなど地域の交流を図っている地域もあります。これからは高齢者や一人世帯の方などを支えていくためにも地域コミュニティが大切な時代になると思っていますので、推進を図っていきます。

8 涸沼川の川底の土砂撤去と県道の整備について

【意見等】

涸沼川の川底に土砂が堆積し、川底が浅くなり、水が溢れてしまうので、土砂の撤去をしてほしい。また、大橋と池野辺間の県道（真端水戸線）は、いつ整備（拡幅）されるのか。

【回答】

涸沼川については、市職員に現地を確認させ、その状況を県（水戸土木事務所）に伝えて整備を要望します。真端水戸線についても、できるだけ早く整備するよう、県（水戸土木事務所）に要望します。

9 地元施設の管理について

【意見等】

大橋公民館の草刈作業を年2回行っているが、土手の下の側溝付近の草を刈るのが大変である。以前、県に相談したが、草刈りはできないと言われたので、市で対応できないか。

【回答】

地元の公民館の管理は、地元をお願いしていますが、高齢化などにより思うようにできなくなってしまったという声も聞かれます。危険な箇所については市で対応しますので、区長を通してご連絡していただきたいと思えます。

10 巡回バスについて

【意見等】

この辺りの地域は、子ども（高校生）を駅まで送って行かなければならず、親の負担になっている。一日一便でよいので、友部駅や笠間駅をつなぐ巡回バスを走らせることはできないか。

【回答】

公共交通のない地域は過疎化が進むばかりであり、地域の大きな課題と思っています。現在の多くの自治体はデマンド交通かコミュニティバスのどちらかを運行しており笠間市は、デマンド交通を選択しました。理想は両方をセットで運行することだと考えます。何らかの対応を考えなければならない時代になってきたのは事実であると思っています。

11 池野辺地区の埋立地について

【意見等】

以前、池野辺地区で埋立てを行っていた場所について、その付近の水質を井戸を掘って調べていたが、今はどうなっているのか。

【回答】

合併前に、県で水質調査を行っていました。現在の状況をよく調べて、地元の区長にお伝えします。

12 区長回覧について

【意見等】

区に加入しないため、回覧板がまわらず、地域の行事に参加する人が少なくなっている。区に加入し、回覧板が回るように呼びかけをしてほしい。

【回答】

市でもできるだけ区に加入するようお願いしています。各地区それぞれのやり方があると思いますので、それぞれの地区に適した呼びかけをしていただければと思います。